



バースデイ



兵庫県マスコット はばタン

兵庫県
公益財団法人兵庫県人権啓発協会

は じ め に

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、感染された方やその家族、濃厚接触者、医療従事者等に対する誹謗中傷やインターネット上での心ない書き込みなどが問題となっています。人権は、いかなる場合でも尊重されるべき基本的な権利であり、このような差別や偏見は決して許されるものではありません。誰もが互いの人権を尊重する共生社会の実現が求められています。

そのためには、相手の気持ちや立場を理解し思いやる感性を磨き、人権意識の高揚を図ることが大切です。そこで兵庫県では、日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表すことが文化として定着している社会をめざす「人権文化をすすめる県民運動」を展開し、人権尊重の視点に立ったさまざまな施策に取り組んでいます。

本年度のビデオ作品『バースデイ』のテーマは、性の多様性を認め合う～「誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」です。

人権に関する県民意識調査結果（平成 30 年度）によると性的指向に関して、今起きている人権問題として「差別的な言動をされること」が 40.9%と最も高く、次いで「職場、学校などでいやがらせやいじめを受けること」が 26.2%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が 25.8%であることがわかりました。LGBT 等性的少数者に対して、社会の理解が進まず、差別や偏見、配慮に欠けた対応などによる精神的苦痛や社会生活上の困難など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。

多様な性について理解を深めるなかで、適切な態度や行動につながる人権感覚を磨くことをねらいとしています。

この作品をご覧いただくことで、LGBT 等性的少数者やその家族などが抱える問題を認識し、お互いに認め合い、助け合いながら、誰もが互いの人権を尊重する中で、それぞれの自己実現の達成へ向け歩んでいける社会について考える機会となることを願っています。

令和 4 年 11 月

兵庫県

公益財団法人兵庫県人権啓発協会

目 次

はじめに

I 制作のねらい |

II 登場人物..... |

III 主な場面とセリフ・学習で扱うポイント..... 2

IV 学習会を開催するにあたって 8

I 学習会全体の流れ 8

2 学習展開例 9

3 ワークシート 10

V 資料編「性の多様性に関する基礎知識」..... 12

I 性を構成する要素

2 「SOGI」と「LGBT」

3 性的指向及び性同一性障害者に関する人権問題について
(人権に関する県民意識調査結果(平成30年度)より)

4 LGBT等性的少数者が直面する様々な困難について

5 用語解説

6 国や県のおもな動向

7 LGBT等に関する相談窓口について

I 制作のねらい

今回の作品のテーマは

「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」です。

性的少数者については、依然として社会理解が進まず、差別や偏見、配慮に欠けた対応などで、自身の思いや悩みを打ち明けることが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。一方、性的少数者であることを打ち明けられた家族や友人等は、既成概念による偏見や知識不足によって、理解しようと向き合う前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことが多くあります。

性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。

II 登場人物

はの みゆき
羽野 美由紀 (51)

〈鈴木 砂羽〉

笑花(尊)の母 子の笑花がトランスジェンダーであることを知らない。



はの えみか たける
羽野 笑花・尊 (20)

〈坂本 零香〉

美由紀の子 プログラマー、戸籍上の性は女性だが、性自認は男性



はの ゆたか
羽野 豊 (52)

〈中山 峻〉

美由紀の夫



にしまる りゅうすけ
西丸 隆介 (60)

〈菅原 大吉〉

美由紀の兄 父の代からの工務店を経営



たまき りほ
玉木 里穂 (45)

〈菊池 麻衣子〉

笑花(尊)の上司 室長
笑花の良き理解者



やまだ ゆうな
山田 祐奈 (23)

〈久遠 明日美〉

美由紀の同僚 一級建築士をめざして勉強中



いわぶち けんや
岩淵 絢也 (35)

〈吉原 シュート〉

笑花(尊)の同僚
システムエンジニア



ししど ちなみ
宍戸 千波 (31)

〈水村 美咲〉

五国商事社員



くにえだ しげる
国枝 茂 (49)

〈大澤 薫〉

五国商事情報システム室長



とくもと あきら
徳本 晃 (32)

〈赤也 平〉

五国商事社員



Ⅲ 主な場面とセリフ・学習で扱うポイント

羽野家・キッチン～居間（朝）

美由紀 「笑花、ほら、これ見て、見て。これね、母さんが成人式の時に作った振り袖ほら」

笑花 「勉強中」

美由紀 「これね、大事にとったのよ。笑花に着てもらいたくて」



笑花 「無理」

美由紀 「ねえ、ほら、見てかわいい柄でしょ絶対笑花に似合うと思うんだ」

笑花 「ぜってえ無理」

美由紀 「笑花、成人式は一生に一度なんだよ。女の子なんだから、めいっぱいきれいにしないとね」

美由紀 「ねえ、お父さん」

豊 「うん、いいんじゃないか」

笑花 「一生に一度だから…自分の好きなものを着たいんだよ。いいよね、お父さん」

豊 「うん、いいんじゃないか」

美由紀 「もうどっちよ!」

笑花 「いってきます」

豊 「おう、いってらっしゃい」



美由紀 「笑花、今日は誕生日ケーキ、久々に母さん焼くから早く帰ってきて」

笑花 「うん」

美由紀 「いってらっしゃい」

西丸工務店・オフィス

美由紀 「うちの娘も、山田さんくらい女子力が高かったらな」

山田 「女子力？」

美由紀 「お化粧もしいし、服なんてこんなガバガバでね」



西丸 「笑花は子供の頃から男の子みたいだったもんな ハハッ、いや、あのパソコンオタクでさ、プログラマーやってんだよ」

美由紀 「けど兄さん、笑花ももう二十歳よ」

西丸 「まだまだ子供だよハハッ、おい、行くぞ、よしよ」

美由紀 「いってらっしゃい」

西丸 「いってきます」

SS ウエスト・オフィス

笑花 「岩淵さん、修正終わりました」

岩淵 「さすが、早いね」

玉木 「無事納品できそうだね」

岩淵 「はい。オーダーが二転三転してどうなるか思ったけど、羽野さんがきっちり対応してくれたんで」

笑花 「岩淵さんのシステム設計がいいんで」

玉木 「いいコンビね。お疲れ様」

笑花 「ありがとうございます」

岩淵 「お疲れ様です」

玉木 「羽野さん、例の件だけど」

笑花 「はい」

玉木 「総務が動いてくれて、役員会議通ったから」

岩淵 「やったじゃん」

玉木 「ご両親には？」

笑花 「…まだ。でも、大丈夫です」



西丸工務店・オフィス

男性二人が道端の花を見ながら談笑している。

西丸 「おう、美由紀、美由紀」

美由紀 「え？」

西丸 「見ろ、見ろ」

美由紀 「何？」

西丸 「外、外、ほら、最近、時々見かけるんだけどさ。こないだ2人手つないでた誰も見てないと思ったんだろうな

美由紀 「え～、もしかして…」

西丸 「え？ オカマか？ ハハッ」

山田 「別にいいじゃないですか。手をつないでも、誰が誰を好きになっても」

西丸 「え？ だって男同士だよ

山田 「社長、止めてください。オカマとかホモとか、レズもそうですけど、人を侮辱する言葉を使うの」

西丸 「いや、本人の前では言わないから」

山田 「本人じゃなくても嫌なんです」

西丸 「何？ 山田さん、何怒ってんのよ」

山田 「いるんです。私の友達にも同性愛者が、だから友達が言われてるみたいで、私も傷つきます」

西丸 「え？ 友達にいるの？」



美由紀「あ・・ごめんね山田さんそうだね。いろんな人がいていいんだよね」

美由紀「兄さん」

西丸「ああ、ハハ…悪い 悪い」



羽野家・(夜) キッチン～居間

美由紀「LGBT って、あなたの会社にいる？」

豊「最近、それに Q やプラスをつけることがあるんだって」

美由紀「へえ～詳しいね」

豊「人権研修で聞いた。一定数いるらしいんだけど、身近にはいないな」

美由紀「うん・・・」

笑花「ホントにいないと思う？」

豊「おう、おかえり」

美由紀「笑花、おかえり」

豊「え、今の話？」

笑花「うん」

豊「いないと思うけど…笑花の周りにはいるのか？」



笑花「うん」

美由紀「え…誰？私の知ってる人？」

笑花「うん。俺なんだ」

美由紀「え？」

豊「俺？」

笑花「俺、トランスジェンダーなんだ」

豊「ハハッ、いやいや、ハハハ…」

笑花「いきなり言われても驚くよね。だけど、そうなんだ」

笑花「小さい頃から、自分は男だと思ってた。でも、みんなが『お前は女の子だ』って、ずっと『違う!』って言いたかった。しんどかった体がどんどん変わって行って、中学入ったら女子の制服だし。プールの授業は最悪」

豊「よく学校休んでたのは、それか？」

笑花「うん。ネットで調べたら、トランスジェンダーっていうのがあって、『ああ自分もこれなんだな』って」

美由紀「そんなの、勘違いかもしれないじゃない」
笑花「勘違いじゃない。これからホルモン治療をして将来は手術もしたいと考えてて…」

美由紀「手術？手術って何それ？あなた…」

豊「母さん、ちょっと落ち着いて」

笑花「こうなるのが怖くて、今までずっと言えなかった、女のふりして生きるしかなかった」

笑花「すぐには認めてもらえないかもしれないけど、もう決めたから。名前も変える」

笑花「『羽野尊(たける)』になる」
豊「尊？」

笑花「条件を満たせば、戸籍上も性別移行できるから」

豊「ちょっと待て」

笑花「上司にはもう話した」

豊「話した？」

笑花「これからは男とし生きていくって」

美由紀「違う私が産んだのは『女の子』なの。それは、母親の私が一番よくわかってるから」

笑花「ごめん。でも、これが俺だから」

豊「笑花、待ちなさい」



同・時間経過(朝)

豊「とりあえず今まで通り暮らそう。笑花も落ちついたら、気が変わるかもしれないし」

西丸工務店・オフィス

自分のパソコンで請求書を作成している美由紀。

無意識に指が動き「00000000」と誤入力。西丸が気づいて

美由紀「今まで通りなんて無理よ」

西丸「おいおいおい・・・何億請求するんだよ」

美由紀「あ…ごめんなさい」

西丸「廊下の張り替えだよ。なんかあったのか？」

美由紀「ん？何でもない」

通り

美由紀が疲れた顔で歩いている。向こうから母娘づれが歩いてくる。

母「駅前にカフェが出来るんだって」

娘「えっ、行こうよ」

母「でもテスト終わってからだよ」

娘「はい」

すれ違いながら羨ましそうに見つめる美由紀。

朝の街 羽野家・キッチン～居間

尊が出て行くのを見て、美由紀が入ってくる。豊が出勤支度を整えながら

豊「母さん、もう半月だぞ。朝ご飯くらい一緒に食べようよ」

美由紀「顔合わす気になれない。あなたはいいの？笑花が性別を変えても」

豊「よくないよ…けど」

豊、美由紀の傍らに『多様な性』に関する資料を渡す。

豊 「俺だってわかってるよ。じゃあいつてくる」

美由紀「・・・」



S14 西丸工務店・資材室

美由紀と山田が資材のチェックをしている。だが、美由紀は上の空でタメ息。山田がそんな美由紀を見て

山田 「美由紀さん。なんかありました?タメ息ダ漏れですよ」

美由紀 「やだ、ごめんなさい」

山田 「こう見えて、私、口堅いです」

美由紀 「友達の娘の話なんだけどね、トランスジェンダーらしいのよ。らしいって言うのは、本人がそう言ってるってことなんだけどね」

山田 「トランスジェンダーだと親にカミングアウトしたわけですね」

美由紀 「そうなの。それで、会社でもカミングアウトして、これからは男性として生きていくんだって、親に相談もしないで、名前まで変えちゃったのよ」

SS ウェスト・オフィス

玉木 「はい、これ」

ネームホルダーと名刺箱を渡す。どちらも『羽野尊』の名前になっている。

尊 「はい」

岩淵 「『羽野尊』 かっこいいな」

尊 「はい。クライアントにもこの名前で通します」

岩淵 「了解」

玉木 「みんな、ちょっと聞いて」

玉木 「羽野さんの要望もあって皆さんには事前に話していましたが、いよいよ羽野さんが希望する名前で働いてもらうことになりました」

尊 「羽野…尊です」

玉木 「『前例がない』 っていう人もいたけど、なければ作ればいいのよ」



玉木、壁に貼られたダイバーシティ推進のポスターを指して

玉木 「職場にはいろんな人がいる。今まで気づけなかっただけで、トランスジェンダーの社員がいるのは当たり前のことだよ」

玉木 「よくわからないことも出てくるかも知れな

いけど、その都度 みんなで話しあっていきましょう」

尊 「なんかあったら直接聞いてくれたらうれしいです」

玉木 「てことで、はい、じゃあみんな仕事続けて」

玉木 「ご両親にはカミングアウトできた?」

尊 「しました。でも、親がショックを受けちゃって…」

玉木 「そう…大丈夫?」

尊 「仕事は頑張ります! (新しいネームホルダーをつけて) ここでは、自分が自分らしくいられるので」

西丸工務店・資材室

山田に話をする美由紀。

山田 「会社でカミングアウトできたってことは、上司や同僚との関係が良かったんでしょうね。したくても、できない人も多いから」

美由紀 「そうだよね」

山田 「もちろんカミングアウトしないという選択もあります。大事なのは本人の気持ちなんで」

美由紀 「でもね、仕事をしてたらいろんな人に会うでしょ。性別を変えたなんてことが知られたら、どんな目で見られるか」

五国商事・受付

岩淵と尊が五国商事の担当者、国枝、千波と名刺交換をしている。

尊 「プログラマーの羽野尊です。よろしくお願いします」

国枝 「どう? うまくいってる?」

尊 「はい、もっと使いやすくなるようにいろいろ考えてみます」

国枝 「期待してるよ」

尊 「はい」

国枝 「おい、サポートよろしくな」

徳本 「分かりました」

岩淵 「部長 何だって?」

尊 「進展状況聞いてくれました」

岩淵 「そうか」



西丸工務店・資材室

美由紀 「ねえ、どう思う？」
山田 「つらいだろうなあ」
美由紀 「ねえ、つらい思いをするだけよね」
山田 「そうじゃなくて。本人はもちろんだけど、そのお母さんもつらいんじゃないかなって」
美由紀 「え…」
山田 「こういう問題って、人に相談しにくいんですよね」
美由紀 「そうなのよ…いや、そうだよね」



山田、スマートフォンを出し

山田 「相談できる窓口もあるんで、情報送りますね。私に何かできることがあれば何でも」
美由紀 「ありがとう」

羽野家・外観（夜）・キッチン～居間

美由紀と豊が話している。

豊 「俺も、本人や家族の体験談を少し読んでみたんだけどさ。笑花にも共通することが結構あった」
美由紀 「どんな？」
豊 「男の子とばっかり遊んでたとか、小学校に上がる時に赤いランドセルを嫌がったり、スカートをはくのを嫌がったり、あの子なりにサインを出してたんじゃないかな」
美由紀 「私は…気づきたくなかったのかも」

五国商事・情報システム室（数日後）給湯室

徳本 「元は女なの？」
千波 「シーッ！」
徳本 「あの子？」
千波 「トランスジェンダーなんだって」・・・

尊、不安で固まってしまう。

同・一角

岩淵 「ごめん！俺が話した」

（回想）同・ミーティングスペース

千波が興味津々に岩淵に話しかける。

千波 「羽野さんって男性？それとも女性？」
岩淵 「え…」
千波 「名前が尊だから、私は男性だと思ってたんですけど、他の社員が、声が女性なんじゃないかって。でも、本人にこんなこと聞くのはね」

岩淵 「羽野の性別は業務には関係ないですよ」
千波 「それは…ですけど、一応把握しておきたくて。しばらくうちで作業してもらわけだし」
岩淵 「羽野は…トランスジェンダー男性です。何か問題がありますか？」
千波 「…やっぱり」

元の一角

尊と岩淵。

岩淵 「むかついて、つい。申し訳ない」

同・情報システム室

尊、パソコン入力中。集中できずに手が止まる。不安と恐怖から手が震える。

岩淵 「大丈夫？」
尊 「すみません。帰ります」

尊、逃げるように出て行く。岩淵、追おうとするが国枝に呼び止められる。



国枝 「どうしました？」
岩淵 「…」

羽野家・居間（昼）・廊下

美由紀がパソコンで「兵庫県 LGBT 相談窓口」の情報を見ている。玄関のドアが乱暴に開いて締まる音がある。

美由紀 「え！」

笑花が無言で二階へ駆け上っていく。美由紀の携帯が鳴る。発信名は『笑花の会社』。美由紀、不安に襲われ

美由紀 「はい、羽野ですけど」

同・尊の部屋

美由紀 「笑花？大丈夫？」
美由紀 「玉木室長から電話があったわよ。派遣先を飛び出して連絡が取れないって」
尊 「ちょっと体調がよくなって」
美由紀 「こんなこと初めてよね。何か嫌なことがあったんじゃないの？」
美由紀 「笑花？入るわよ。やっぱり無理があるんじゃない？何でそんな辛い思いをしてまで性別を変えなきゃいけないの？」
尊 「女のままにいる方が辛いからだよ。演技してるままじゃ、もう笑えない」
美由紀 「無理に笑わなくてもいいよ。だから、女の子のままでもいいよ、お願い」
尊 「何でそんなことが言えるの？それは、この人生を諦めるってことだよ！」
美由紀 「笑花！」

SS ウェスト・一室

玉木 「お母さんとは連絡がとれたから、羽野さんが落ち着いたら電話を入れてもらうように伝えた」

岩淵 「申し訳ありません。自分のせいです」

玉木 「あなたが羽野さんを応援したかった気持ちはわかる。でもね、あなたがやったのはアウトティングといわれること」

岩淵 「はい」

玉木 「羽野さんは、私たちを信頼して打ち明けてくれた。だけど、それは、他の人に勝手に話していいってことじゃない。アウトティングは命に関わることもあるの」

玉木 「はい。SS ウェスト玉木です」

美由紀の声 「羽野です」

通り

不安で落ち着かない様子の美由紀。

美由紀 「玉木・・・玉木さん!？」

玉木 「はい」

美由紀 「あっどうしよう。私ひどいこと言ってしまった、傷ついてるあの子にもっとひどいこと言ってしまった」

玉木 「お母さん。とにかく尊さんを探しましょう」

美由紀 「どうしよう、あの子に何かあったら・・・」

玉木 「落ち着いて捜しましょう」

美由紀 「はい」

玉木 「行きそうなところ分かりますか？」

美由紀 「はい」

橋の上

絶望的な目で流れる川を見つめる尊。

尊 「諦めたら、楽になれるかな」



スマホが鳴る。尊 「(タメ息)」
スマホの電源を切ろうとする尊。
着信相手にずらりと「玉木室長」「母さん」が並んでいる。

別の通り

玉木のスマホが鳴る。急いで着信相手を確認する玉木。『羽野尊』だ。美由紀にも見せる。美由紀が携帯を奪い取り

美由紀 「どこにいるのよ!」

広場的なスペース

美由紀 「玉木さんのほうにかけてきましたね。玉木さんは、あの子のこと、その…受け入れてくださってるんですね」

玉木 「受け入れる…何ていうんでしょうね。ただこの人はそうなんだなって」

美由紀 「私も他人なら、そんな風に思えたのかな、あっ私だって頭では理解してるんですよ。でも…」

美由紀 「私はただ笑花に普通に幸せになって欲しかっただけなんです」

玉木 「普通…って何なんでしょうね。私も若い頃、さんざん『変わってる』って言われて。生きづらいなって思ってたんで」

尊 「室長!」

玉木 「緊急連絡があったから、一緒に探してもらったの」

尊 「すいません」

玉木 「こちらのほうこそ申し訳ない!アウトティングについて、みんなにちゃんと話しておくべきだった」

尊 「室長・・・」

玉木 「五国商事の国枝室長とも話をしたんだけど、国枝室長は、羽野さんには嫌な思いをさせて申し訳なかった。これを機会に社員教育を見直すって。それから、国枝室長、褒めてたわよ羽野さんは仕事が早くて正確だってから引き続きこの案件をお願いしたいそうよ。続けてもらえる?」

尊 「…はい」

玉木 「了解!以上!」



西丸工務店・表・オフィスの一角

美由紀 「普通って何だと思う?」

山田 「普通ですか?」

美由紀 「うん。ずっと考えてるんだけどね」

山田 「うーん。分かんないです」

美由紀 「え?」

山田 「だって、美由紀さんの普通と、私の普通は違うじゃないですか。普通なんて人の数だけあるのに、なんでみんな『普通はこうだ』って押し付けるのかな?」

美由紀 「あっ・・・押し付けてるのかな?」

山田 「私は普通じゃなくても、自分らしく生きられればいいかな、そのお友達のお子さんも自分らしく生きるって決めたんですよ」

美由紀 「うん」

山田 「お母さんにもその気持ちが届くといいな。お母さんのことが好きだから、応援して欲

しいんじゃないかな。これ、お友達に」

美由紀「ありがとう。助かる」

山田「じゃ、打ち合わせいってきます」

美由紀「いってらっしゃい」



同・オフィス（夕方）

西丸「あいてて…何読んでんの？」

美由紀「ん？ああ…何でもないよ」

西丸「何？トランスジェンダー？」

美由紀「ああ…兄さんには関係ないから」

西丸「いや、見せろよ」

美由紀「返して！」

西丸「いいじゃんよ。お前、おう、何だ笑花。ハハッ久しぶり、入れ入れ、え？どうした？」



尊「たまには、母さんと帰ろうと思って」

西丸「ああ…そう何かこれ？トランスジェンダー？最近そういうのが流行りなのか？」

尊の表情が強張る。美由紀も尊が気になる。

西丸「今、こういうの流行ってんのか？ん？あっ、そうだ。同級生のター坊、あそこの会社にも1人いるらしいよ。トランスジェンダーね。ふーん、まあ、あれだよな、こういう人はテレビで見てる分にはいいんだけどさ。まあ、あんまり近くにいてほしくないよな。性別変えるって普通じゃないよ。うん、いや～これ身内にいたら、たまらんなあ。笑花」

尊「あの…」

美由紀「いいかげんにしてよ、兄さん！」

西丸「おっ、な…何だよ？」

美由紀「そういう言葉が傷つけるの。追い込むの。この人たちが何をしたいの？ただ自分らしく生きてるだけでしょ」



西丸「うん、そうだったな… すまん」

美由紀「帰ろう」

通り

美由紀が興奮ぎみにずんずん歩いて行く。美由紀とずっと話したいが、話しかけられないまま追いかけていく尊。

羽野家・外観（夜明け）・台所～居間

眠れない美由紀が赤ん坊の頃の尊（笑花）の写真を見ている。無邪気な笑顔。

同・時間経過

尊「おはよう」

美由紀「はい、これ切って。昔はケーキづくりが大好きな女の子で大きくなったらケーキ屋さんになるって言ってた」



尊「ケーキづくりが好きな男の子もいるよ。パティシエだって男が多い」

美由紀「パティシエはどっちみち無理だったね。だって、不器用なんだもん。いつだったか、薄力粉をひっくり返して、部屋じゅうスモークたいみたいになって、私の髪まで真っ白。お父さんが『玉手箱でもあけたのか』って」

尊「ハッ」

美由紀「小学校の高学年になったら、パソコンに夢中でケーキづくりなんか見向きもしなくなった」

美由紀「お誕生日おめでとう。尊」

プレートには『タケル、おたんじょうびおめでとう』の文字。

美由紀「ごめんね。ひどいことばかり言って。ずっとつらかったね」

尊「母さん」

美由紀「やっと気づいたの。あなたが笑って生きてくれれば、それでいい」

尊、笑顔と涙がこぼれ

尊「ありがとう。勝手に名前を変えてごめんね。だけど やっと言えるよ。俺、生まれてきて良かった」



そこに、ふらっと入って来る豊。

豊「おはよう何？何事？」

美由紀「おはよう」

尊「おはよう」

（終）

Ⅳ 学習会を開催するにあたって

1 学習会全体の流れ

学習会を始める前に、計画や運営の面でどのようなことに注意していくとよいか、基本的な内容についてチェックしてみましょう。

【準備】

- ☐ 学習のねらいが、はっきりしている。
- ☐ 学習内容は、学習者が知りたいことである。
- ☐ 実施時期や時間、場所は、学習者に無理のない設定である。
- ☐ 指導者や講師は、ねらいや内容の点から適任である。
- ☐ 学習方法は、講義や討論、ビデオ視聴など学習者や内容に合わせて決めている。
- ☐ 資料や機材等の確認ができている。
- ☐ 前回の改善点を生かしている。

効果的な学習会にするための最大のポイントは、ねらいの明確さです。学習内容や指導者（講師）選択は、しっかりとしたねらいに沿って決める必要があります。また、事前に指導者（講師）と打合せを行い、担当者の考えを伝えておきます。話し合いをする場合、身近で、だれもが知りたいと感じているテーマを扱うことで、意見が活発に交換され、充実した気づきの場となります。

【実施】

- ☐ 円滑な進行をめざして、シナリオ（進行手順）を作成するなど工夫している。
- ☐ ワークシートを、学習者が考えを整理するための資料として活用している。
- ☐ 話しやすい雰囲気づくりを心がけ、プライバシー厳守や他者を批判しないなど話し合う際のルールが共有できている。
- ☐ 実施中に学習者の様子を観察するなど、評価の視点を取り入れている。
- ☐ アンケートに、理解の程度や内容に関する項目、自由記述などを入れている。

学習会を成功させるには、全体の流れがイメージできていることが重要です。受付や挨拶、講演や討論の質疑応答などの時間配分も含めて、計画に沿って進めていきます。話し合いをする場合、学習者同士の関わりによって新たな気づき生まれるので、学んだ効果を発表し合うなど、振り返りの機会を持つことが大切です。学習者が、「聞く」「見る」「話す」「作る」など、変化のある活動ができるように心がけます。

【実施後】

- ☐ アンケート結果を、効果があった点と改善点とに分けてまとめ、報告する。
- ☐ アンケート結果をもとに、次回の学習会に向けた計画案を作成する。



〈学習者の視点を大切に〉

◎学習者に新たな気づきがあったか。 ◎学んだことが日常生活につながっているか。

2 学習展開例

ワークシート 1 (P10) は、グループ学習を行う場合を、ワークシート 2 (P11) は、個々で学習を行う場合を想定したシートです。ただし、参加者の状況に応じて柔軟に工夫をして、より学習に役立つものにしてください。60 分の学習を想定していますが、参加人数や時間によって、話し合う項目数や時間配分を調整し、無理のない学習を行いましょう。

※ 90 分以上の場合は、4 人程度の少人数によるグループワークを適宜取り入れて実施することをお勧めします。

学習のねらいと関連する場面（セリフに下線）

1 LGBT等性的少数者への理解を深め、これまでの意識について考える。

- ・ P 2「時々見かけるんだけどさ。こないだ2人手つないでた誰も見てないと思ったんだろうな」
「え？ オカマか？ ハハッ」「え？ だって男同士だよ」(西丸)
- ・ P 2「一定数いるらしいんだけど、身近にはいないな」(豊)
- ・ P 3「こうなるのが怖くて、今までずっと言えなかった。女のふりして生きるしかなかった」(笑花)
- ・ P 4「性別を変えたなんてことが知られたら、どんな目で見られるか」(美由紀)
- ・ P 5「名前が尊だから、私は男性だと思ってたんですけど、他の社員が声が女性なんじゃないかって。でも、本人にこんなこと聞くのはね」(千波)
- ・ P 6「こういう人はテレビで見てる分にはいいんだけどさ。まあ、あんまり近くにいてほしくはないよな。性別変えるって普通じゃないよ。うん、いや～これ身内にいたら、たまらん」(西丸)

2 誰もが互いの人権を尊重する中で、私たちが日常生活の中で心がけることを考える。

学習活動		学習活動を支援するポイント	
1 開会（3分） ・ 学習のねらいと流れを知る		<始める前に> 学習活動4（意見の交換）をグループで行う場合は、参加者の着席状況を見て、席の移動をお願いする。 ○ すべての学習のねらいを扱うことはできないので、参加者に特に必要と思われるものを選択する。	
2 ビデオの視聴（36分）		○ 学習活動3（ワークシートの記入）でどちらのワークシートの何番の問を使うかを決め、事前に2ページからの「主な場面と台詞・学習で扱うポイント」を使い、注意して視聴するポイントを学習者に伝える。	
3 ワークシートの記入		【ワークシート1】	【ワークシート2】
【ワークシート1】 ・ 指定された問を記入する（5分）	【ワークシート2】 ・ できるだけ具体的に記入する（10分）	○ ワークシートの問をすべて扱うことは時間的にできないので、ビデオの視聴の前に伝えたポイントに該当する問と、時間に余裕があれば扱いたい問を記入してもらう。	○ 空欄は資料編を参考にする。実際に身の周りの生活を振り返って、具体的な事例について考える作業になるので、見せ合ったりせず、じっくりと考えて記入してもらう。
4 意見の交換			
・ グループでの話し合いの後、全体で意見を聞く（12分）	・ 全体で話を聞く（7分）	○ グループでの話し合いの様子を見ながら、全体の前で意見を発表してもらうペアを選び、事前に発表者をお願いしておく。	○ 記入の際に、事前に発表者を数名お願いしておく。
5 まとめ（4分）		○（P12－P15）を使うなどして、内容のまとめや相談窓口等について説明する。	

3 ワークシート

■■■『バースディ』ワークシート 1 ■■■

性の多様性を認め合う セリフをもとに考えましょう

(1) LGBT 等性的少数者に対するイメージについて

ア 「時々見かけるんだけどさ。こないだ2人手つないでた誰も見てないと思ったんだろうな」「え？ オカマか？ ハハッ」「え？ だって男同士だよ」（西丸の発言）について考えてみましょう。

イ 「性別を変えたなんてことが知られたら、どんな目で見られるか」（美由紀の発言）から、どのように考えているでしょうか。

ウ 「小さい頃から、自分は男だと思っていた。でも、みんなが『お前は女の子だ』って、ずっと『違う!』って言いたかった」（笑花の発言）から、『違う』って言えなかったことについて考えてみましょう。

(2) 無自覚な言動について

ア 「名前が尊だから、私は男性だと思ってたんですけど、他の社員が、声が女性なんじゃないかって。でも、本人にこんなこと聞くのはね」（千波の発言）について考えてみましょう。

イ 「羽野は…トランスジェンダー男性です。何か問題がありますか？」（岩淵の発言）について考えてみましょう。

映像内容や資料編から考えましょう

(1) LGBT等性的少数者の現状について考えてみましょう。

※ (P12 ~ 14) を参考にしてください。

ア 空欄を埋めてみましょう

()	性の要素の一つで、恋愛感情や情緒的・性的な関心がどの性別に向かっているかを示すもの。
()	性の要素の一つで、「男性」「女性」「男性と女性のどちらでもある」「男性と女性のどちらでもない」など、自分自身がどの性別であるかの認識のこと。
()	生物学的な性と性自認が一致しない人。いわゆる身体の性と心の性が一致せず違和感を持つ人。
()	「女性／男性」の2択に捉われない性別のあり方の人。女性でもあり男性でもある、女性でも男性もない、性別を決めたくないなど、様々な人がいる。

イ もし、あなたが家族からカミングアウトされた場合、どのように対応すると思いますか。また、そのことについて相談できる人はいますか。

(2) 美由紀が尊の気持ちを受け入れられたのは、なぜでしょうか。

(3) 誰もが自分らしく生きていく社会とはどのようなものなのでしょうか、本日の研修を踏まえて、考えたことを書いてみましょう。

V 資料編「性の多様性に関する基礎知識」

1 性を構成する要素

性のあり方には、「身体の性」以外にも大きく分けて4つの要素があります。それぞれの要素の組み合わせによって、様々なセクシュアリティ（性のあり方）が形作られています。

その組み合わせは多様で、「性はグラデーション」と言われることもあります。

身体の性(からだの性)	身体的な特徴や性染色体など生物学的な性別	男 ← → 女
性自認(こころの性)	自分自身が認識している性別	
性的指向(好きになる性)	恋愛感情などがどの性別に向いているか	
性別表現(表現する性)	言葉や振る舞い、服装などで表現される性別	

2 「SOGI」と「LGBT」

● SOGI（ソジあるいはソギ）

性を構成する要素の「性的指向」と「性自認」のことです。すなわち、全ての人の性に関わることです。

SO セクシュアル オリエンテーション 性的指向(Sexual Orientation:SO) 異性愛・同性愛・両性愛・無性愛など		GI ジェンダー アイデンティティ 性自認(Gender Identity:GI) 女性・男性・Xジェンダー※など	
---	---	---	---

※Xジェンダーとは女・男の2択にとられない性別のあり方の人

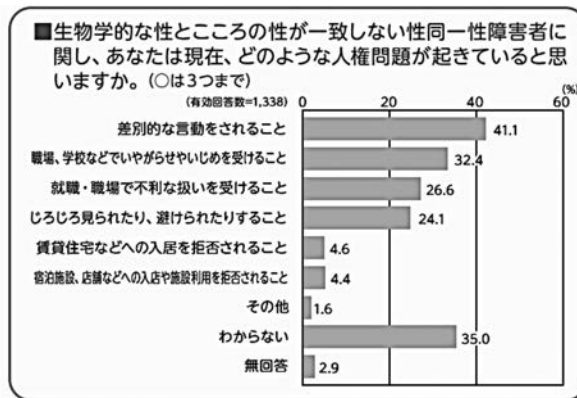
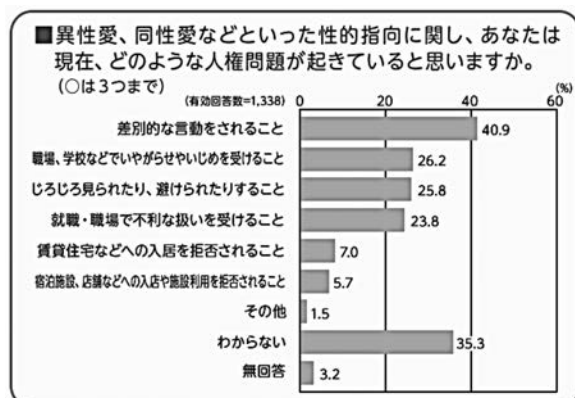
● LGBT

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーというアイデンティティ（自分は何者であるかという意識）を指す言葉の頭文字をとったものです。性的少数者の総称の一つとして使われることもあります。

	L esbian (レズビアン) 性自認が女性の同性愛者	G ay (ゲイ) 性自認が男性の同性愛者	B isexual (バイセクシャル) 両性愛者	T ransgender (トランスジェンダー) 出生時の身体に基づいて振り分けられた性別と異なる性自認の人。様々な性別不合・性別違和。
性自認	女性	男性	女性 男性	
性的指向	女性	男性	男性にも女性にも向いている 女性にも男性にも向いている	

※上記以外にも多様で様々なセクシュアリティがあります。

3 性的指向及び性同一性障害者に関する人権問題について (人権に関する県民意識調査結果（平成30年度）より)



(出典 兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会「人権文化あふれる温かい共生社会をめざして～多様な性への理解を深めるために～」啓発リーフレット)

4 LGBT 等性的少数者が直面する様々な困難について

●日常生活での困難事例

性的少数者の人々は、社会的な抑圧や、周囲の無理解の中で、ライフステージごとに様々な困りごとに直面したり、悩みを抱いたりすることがあります。

- ・「ホモ」「おかま」「気持ち悪い」という言葉に傷ついた。
- ・性的指向や性自認に関するいじめやハラスメントの被害にあった。
- ・性自認の性別の更衣室やトイレが使えない。
- ・性自認と異なる制服の着用がづらい。
- ・履歴書の性別と外見が異なるため、就職活動で差別されないか不安。
- ・公的書類の性別と外見が異なるため、行政窓口の手続きに時間がかかった。
- ・性自認や性的指向について相談できる場所がわからない。

こうした困難事例を知ることは、これまで見過ごされてきた性的少数者の人々の問題に目を向け、性的少数者の存在に少しでも気づきやすくすることにつながります。

ただし、性的指向に関するマイノリティ（LGB）と、性自認に関するマイノリティ（T）では、抱えている問題が違う面もあり、当事者それぞれに考え方や直面する困難の内容に個人差もあります。性的少数者を固定的なイメージでとらえないことも重要です。

●こんな言動は NG ～当事者が不快に思う言葉～

ノーマル・アブノーマル、ホモ、おかま、レズ、おなべ、オネエ、あっち系、男らしく・女らしくなど、性的指向や性自認を揶揄する発言は、差別的言動であることを認識しなければなりません。職場や学校など日常生活での言動にも気を付けましょう。

●アウティング（暴露）は絶対にしない!～プライバシーの保護～

本人の了解を得ずに、本人が公にしていない性的指向や性自認をその他の人に伝え、広めてしまうことを「アウティング」といいます。

アウティングは、重大な人権侵害です。絶対にしないよう十分注意しましょう。

* 本人が表明することは「カミングアウト」と言います。

カミングアウト（Coming out）

これまでに公にしていなかった自分の性的指向や性自認等を本人が表明すること



アウティング（Outing）

本人が公にしていないことを他人が暴露すること

－アウティング被害による重大な事件－

平成 27 年 4 月に、男子学生 A さんが、同じクラスの男子学生 B さんに、好意を抱いていることを打ち明けました。その後、B さんは A さんの同意を得ないまま、A さんが同性愛者であるということを、複数の同級生が参加する LINE グループで暴露してしまいました。

その後、A さんは心身のバランスを崩し、心療内科を受診するようになり、大学にも相談していましたが、同年 8 月、大学構内の建物から転落し亡くなりました。

5 用語解説

■性に関する用語 ※各用語の使い方は文献・資料等によって異なります。(以下の表記は絶対ではありません。)

(出典 兵庫県「人権文化あふれる温かい共生社会をめざして～多様な性への理解を深めるための職員ガイドライン」)

性的指向(Sexual Orientation)

性の要素の一つで、恋愛感情や情緒的・性的な関心がどの性別に向かっているかを示すもの。

性自認(Gender Identity)

性の要素の一つで、「男性」「女性」「男性と女性のどちらでもある」「男性と女性のどちらでもない」など、自分自身がどの性別であるかの認識のこと。

性別表現(Gender Expression)

性の要素の一つで、服装や言葉遣い、振る舞いを、自分自身がどのように表現したいかということ。

性同一性障害(GID)(Gender Identity Disorder)

トランスジェンダーの中でも、特に精神神経医学的な診断基準を満たした人。

性別適合手術(SRS)(Sex Reassignment Surgery)

トランスジェンダーの中で、身体的な性別に対して強い違和感や嫌悪感を抱いている人に対し、内外性器の形状を性自認に合わせるために行う外科手術。

FtoM(FTM)(Female to Male)

出生時に、身体の性別により割り当てられた性別が女性で、性自認が男性の人。(トランス男性)

MtoF(MTF)(Male to Female)

出生時に、身体の性別により割り当てられた性別が男性で、性自認が女性の人。(トランス女性)

アライ(Ally)

多様な性自認、性的指向に理解のある非当事者であり、理解者、応援する人、支援者のこと。

エックスジェンダー(X-gender)

「女性／男性」の2択に捉われない性別のあり方の人。女性でもあり男性でもある、女性でも男性もない、性別を決めたくないなど、様々な人がいる。

クエスチョニング(Questioning)

性自認や性的指向が明確でない人、固定的でない人、定義づけたくない人など。

シスジェンダー(Cisgender)

生まれた時に診断された身体の性別と自分の性自認が一致し、それに従って生きる人。

ジェンダー(Gender)

人間には生まれつきの生物学的性別(Sex)がある一方、社会通念や慣習の中に社会によって作り上げられた女性像・男性像があり、これらを「社会的・文化的に形成された性別(Gender)」という。

トランスジェンダー(Transgender)

生物学的な性と性自認が一致しない人。いわゆる身体の性と心の性が一致せず違和感を持つ人。

バイセクシュアル(Bisexual)

性的指向が男性にも女性にも向く人。両性愛者。

アセクシュアル(Asexual)

性的な欲望や恋愛感情を持たない人。(両方ない人、性的な欲望だけない人など様々。)

パンセクシュアル(Pansexual)

全ての性別の人が、恋愛や性愛の対象となる人。全性愛とも言う。(バイセクシュアルは二つの性別を対象とした表現だが、それ以外の他の性別も含めた表現)

6 国や県のおもな動向

(1) 男女共同参画における取組（内閣府）

第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月25日閣議決定）では、「第6分野 男女共同参画の視点に立った貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備」の「高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備」において、「性的指向・性自認（性同一性）に関すること（中略）に留意しこのような人々についての正しい理解を深め、社会全体が多様性を尊重する環境づくりに資するよう、人権教育・啓発等を進める」とされる。

(2) 自殺防止における取組（厚生労働省）

「自殺総合対策大綱」（平成29年7月25日閣議決定）における「第4 自殺総合対策における当面の重点施策」「2 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す」において、「自殺念慮の割合等が高いことが指摘されている性的マイノリティについて、無理解の「(3) 自殺や自殺関連事象等に関する正しい知識の普及」や偏見等がその背景にある社会的要因のひとつであると捉えて、理解促進の取組を推進する。」と記載するとともに、「7 社会全体の自殺リスクを低下させる」において、「(16) 性的マイノリティへの支援の充実」が掲げられる。

(3) 人権擁護の取組（法務省）

人権啓発冊子「人権の擁護」（令和4年度版）で「主な人権課題」として性的マイノリティについて取り上げるとともに、法務省の人権擁護機関において、性的指向や性自認（性同一性）を理由とする偏見や差別の解消をめざし、啓発活動重点目標、啓発活動強調事項を掲げ啓発活動が実施される。

(4) 兵庫県の取組

「多様な性への理解を深めるための職員ガイドライン」（令和3年3月）県職員が多様な性について理解を深めるなかで、適切な態度や行動につながる人権感覚を磨くことをねらいとし、お互いに認め合い、助け合いながら、誰もが自分らしく生きることができる共生社会づくりの

指針のひとつとして活用される。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf06/documents/lgbt2.pdf>

(5) 兵庫県教育委員会の取組

「多様な性」に対する正しい理解のために （令和4年4月）

すべての教職が「多様な性」に対する正しい理解を深め、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進するために作成される。



https://www.hyogo-c.ed.jp/~jinken-bo/R04tayounasei/kounaikenshuu_tayounasei.pdf

7 LGBT 等に関する相談窓口について

○兵庫県・（公財）兵庫県人権啓発協会

「LGBT 電話相談」

性的少数者当事者であり、公共団体等で相談実績のある相談員が専門的知識とスキルを活かし、性的少数者とその家族等などの悩みや解決策等を相談できる。



050-3637-7521

受付時間：18:00～21:00(土)

○厚生労働省（兵庫労働局）

「総合労働相談コーナー」

令和4年4月1日からすべての企業に性的少数者へのハラスメントを含め、パワーハラスメント防止措置が義務化される。

078-367-0850

受付時間：平日9:00～17:00

○法務省

「みんなの人権110番」

全国共通人権相談ダイヤル

0570-003-110

受付時間：平日8:30～17:15



新型コロナウイルス感染症については、
正確な情報を入手し、人権侵害につながることをないよう、
冷静な行動をお願いします。



令和 4 年 11 月 発行

兵庫県県民生活部総務課人権推進班

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
TEL(078)362-9135 FAX(078)362-4266

公益財団法人兵庫県人権啓発協会

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号
TEL(078)242-5355 FAX(078)242-5360
URL <https://www.hyogo-jinken.or.jp>

複写＜転載＞について

人権啓発ビデオ活用ガイド及びパッケージ、チラシについて、複写＜転載＞
される場合は、当協会に申請が必要となります。詳しくは当協会 HP (<https://www.hyogo-jinken.or.jp>) をご覧になるか、当協会までお問い合わせください。

